

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物の種類・量の現状を把握して、削減のために分別／有価物化を推進している											○	○		○				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・エネルギー購入量をグラフ化し、毎月更新している。(月単位、年単位で把握) ・空調更新計画を作成し、計画的に省エネ効率の高い機器への更新を推進している							○						○					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・温室効果ガス排出量を把握し、削減計画の策定と再エネ購入の推進をしている							○					○	○					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な使用と削減を推進している			○			○					○	○						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・構内庭園等の特定外来種(オオキンケイギク)の駆除や在来種を使用した構内緑化を実施している						○										○		
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・水利用状況を把握し、使用量削減(トイレ用擬音装置の利用、雨水の利用)等を推進している						○												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001を取得している			○			○	○					○	○	○	○			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・ウェブでの環境情報公開、環境レポートを発行している												○						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・太陽光パネルの設置と利用をしている ・FIT非化石証書の購入している							○						○					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	グリーン調達活動や、環境に配慮した調達活動を推進している。												○	○	○	○			
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・工場における資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている ・ペットボトルキャップ、プルタブの回収活動に取り組んでいる						○						○	○	○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を就業規則に明記し定期的に教育を実施																	○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・不正競争行為を含む行動規範を就業規則に明記し定期的に教育を実施																	○	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・就業規則に明記し、社内委員会活動による管理・運用・監視を実施									○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報管理規程を定め適切に管理している。 ・定期的に教育を実施																		○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	これまで富士通グループ全体での「CSR調達活動」参画にて取引先に於ける取組状況を調査し把握してきたが、富士通グループ離脱に伴い、自立した運用プロセスを構築中。																		○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	上記と同様					○			○		○		○	○	○	○	○	○	○

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	製品・サービスの安全性の向上を図ることを目的に社内規定を制定・運用している。 ・公的に認められた安全基準と同等以上の自主安全基準整備および適合した製品開発 ・製品安全確保の観点で踏まえた取扱説明書・製品などへの表示 ・事故につながり得る不具合等に対するクレームの適切な対応方法の明確化			○								○								
	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001に従った品質マネジメントシステムの構築・運用、およびISO9001認定の取得								○											
	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・製品・サービスの設計時、ライフサイクルの各段階で想定される環境影響の把握した上で設計するプロセスの確立						○					○	○	○	○					
	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	働き方の変化等の社会課題に対して、最適な環境を提供出来る製品開発の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・騒音・振動測定を定期的に行い、結果により問題ない事をホームページに掲載している ・地下水モニタリングを定期的に行い、結果により土壌汚染をしていない事を南アルプス市と山梨県に報告し、ホームページにも掲載している				○					○		○	○		○	○				○
	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・緑の募金、ペットボトルキャップ、プルタブ回収による寄付 ・クリスマスイベントへの地域住民を招待、自然環境保護活動(森の囲い柵の補修、ツタ除去等) ・献血バスの受け入れ、社員配付の創立記念品に石川県の品物を購入 ・子ども食堂への寄付				○							○			○	○				○
	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・イベント開催時には地元の取引先を優先的に選定している ・FIT非化石証書(再エネ)の購入は山梨県の発電所を選定している								○	○		○	○	○						
	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	・コンプライアンス規程に定め教育等実施し周知している																			○
組織体制	36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・企業行動指針に則り実施している。 ・環境・品質方針においても共有している。(ホームページにて公開)								○	○										○
	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・法令順守(コンプライアンス)の方針、手順などの体制が整備されている ・内部通報制度(匿名性の保障や社外直通窓口など)が整備されている																			○
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・行動規範に則り規程等を制定し、責任者(担当役員)の任命、CSR管理者の任命を実施している。 また、専門部署を設けている。																			○
	39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・リスクアセスメント手順が規定されている。 ・エスカレーション手順もある。 ・マップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている。																			○
	40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスの整備																			○
	41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握																		○	○
	42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練の実施										○		○	○					○	

